

平成26年度 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる期末評価結果

(ア) 取組実績の評価 (1) 事業の実施状況の評価

評価項目

1. 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
 - (1) 地域課題への取組にかかる支援の実施状況
 - (2) つながりの拡充にかかる支援の実施状況
 - (3) 組織運営にかかる支援の実施状況
 - (4) 区独自取組にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
B	<p>様式1「地域活動協議会への支援状況(運営)」でも詳細に報告されているとおり、地域に日々出向いて丁寧に支援を行い、信頼関係を作っている。</p> <p>とりわけ、SNSによる情報発信支援と会計支援に力を入れて取り組んだ結果、16全地域でFacebook等SNSの立ち上げが完了した。また、会計支援についても補助金申請・精算報告について区役所と連携を取りながら、地域の事務レベルを考慮しながら適切な支援をおこなっている。</p> <p>SNS利用と紙ベースの両方の広報で広く活動内容の周知、募集、結果報告ができるようになってきており、会計事務支援と合わせて、現時点で各地域が求めている支援にこたえられていると考える。</p> <p>各地域で、部会会議の活動が活発になってきており、定例開催化されている地域もあるなど、支援の成果と考える。</p> <p>毎月1回「地域活動協議会連絡会」を開催し、昨年10月には「第1回情報交換会」を開催。昨年度より、隔月でテーマ別の「情報交換会」を開催する予定。他地域の良いところを共有できるよう次のステップへの取組みを進めており評価できる。</p> <p>また、将来の担い手の育成として、子どもを対象にした事業の充実や中学生ボランティアの養成や地活協主催の成人式などの取組みも進めており、将来のまちづくりに向けたスケジュールを計画し、進めようとしている点は評価できる。</p> <p>「区独自取組」として、喫緊の課題であるCB/SB化は、順調に進んでいるとは言えないが、進展に向けた支援、また、その前提として受益者負担の事業の浸透を図る取組みも行っており、引き続き継続した支援に期待したい。</p> <p>関わりの薄い住民へのニーズ把握やCB/SB化への支援不足の点や</p>

	「法人格取得」や「交流の場」の必要性も自覚しており、地域への受益者負担の事業の浸透の取組みと合わせ今後に期待したい。
--	--

(イ) 取組実績の評価 (2) 事業の実施体制等の評価

評価項目

1. 自由提案による地域支援の実施状況
2. スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
3. フォロー（バックアップ）体制等
4. 区役所との連携

評価点	左記の理由
B	<p>支援員の急な退職者発生があり、そのフォローは、迅速な選任をしており、また他の支援員が補完するなどチームワークで対応することができた。</p> <p>地域の支援水準に差が出ることをないよう引き続き取組みを進めてもらいたい。</p> <p>地域情報の共有については、定められた月・日報による業務実施報告書だけでなく区役所担当者と連携を密にするため、内容に応じて随時情報共有もおこなっており、また、区長・副区長と支援員との懇談会も開催し、区役所との連携もできている。</p>

(ウ) 取組効果の評価 目標等の達成状況の評価

評価項目

1. アンケート調査
2. 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
 - (1) 地域課題への取組の達成状況
 - (2) つながりの拡充の達成状況
 - (3) 組織運営の達成状況
 - (4) 区独自取組の達成状況
3. その他の効果のあった内容

評価点	左記の理由
B	<p>アンケート結果においても、地域から一定の評価を得ているように、地域に対して丁寧に取り組むをしており、信頼関係を構築しながら着実に中間支援組織としての業務を遂行することができている。</p> <p>「地活協の構成団体」中、PTAや学校・福祉施設の参加が多い点や地元企業が参加している点について、地域ぐるみのまちづくりを進める下地ができており評価できる。</p>

	<p>CB/SB化の取組みは、「有償・受益者負担」の意識改革の段階であるが、少しずつでも進展するように取り組んでおり、今年度より補助金の補助率が75%となったことから、地域の関心も高くなっていくことが予想され、引き続き頑張って進めてもらいたい。</p> <p>情報公開は、時代の趨勢であり、当区では地域活動協議会への情報公開・情報提供の請求も時々あることから、開かれた地域運営が定着するように引き続き力を入れて取り組んでもらいたい。</p>
--	--

(エ) 総合評価

- ・ 上記の評価を踏まえ、総合的に評価

区の評価	評価及び意見
B	<p>アンケート結果においても、地域から一定の評価を得ているように、地域に対して丁寧に取り組みをしており、信頼関係を構築しながら着実に中間支援組織としての業務を遂行することができている。</p> <p>特に力を入れて取り組んできた会計支援とSNSを使った情報発信支援は、順調に実施できており、今後一層の地域の活性化が期待される。</p> <p>「区独自取組」についても進めようとする姿勢は、地域に対する有効な啓発になっていると考えられ、引き続き支援が望まれる。</p> <p>支援員の資質や力量によって地域への支援にアンバランスが生じることから、今後、支援水準の一層の向上に努めてもらいたい。</p> <p>また、評価会議の委員から組織型からネットワーク型・参画型へ向かう戦略や工夫の必要性、まちづくりセンターとしての目標の設定等を言われており、委員の指摘を踏まえた今後の活動を期待したい。</p>

(評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない